

横浜市立奈良の丘小学校
令和4年度 豊かな心の育成推進プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
だれもが安心して豊かに学べ、まちと共に歩む学校にします。 ○いじめのない学校をめざし、予防的な対応・早期発見・早期対応に努めます。 ○子どもが自尊感情を育み、自他をかけがえのない存在と実感できるよう努めます。 ○子どもが主体的に学び、成長を実感できる授業を実践します ○奈良のまちを知り、地域に貢献しようとする思いとまちを愛する心情を育てます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	よりよい人間関係を築いていこうとする姿を価値付けするとともに、子どもの自尊感情を育て、自分を大切に育てる心をはぐくむ。	① なかよし活動を継続的に進めるように、時期や内容を検討し、異学年同士のつながりが深まるようにする。②地域とふれあう活動を大切に、生活科や「横浜の時間」では、まちで出会う「人」とのつながりを生かした学習を継続していく。③進んで挨拶するなど人とのふれあいを大切に、温かい言語環境を整えていく。
担当	人権・道徳部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校の児童は素直で子どもらしく、学習に意欲的に取り組むことができる子が多い。しかし、相手の立場にたって物事を考えることができず自己中心的な言動で友だちを傷つけてしまう子、反対に友だちの言動を気にするあまり、自分の思いを抑えすぎてしまったり、うまく表せなかったりする子も多い。友だちとの関わりが苦手なためにトラブルに発展し、コミュニケーション能力の不足からストレスを感じている子もいる。子どもたち一人ひとりが自分の本当の思いを見つめ、心を開いて言葉や行動に表していくことを一歩ずつ進めていきたい。そして、お互いを認め合い、心や言葉を友だちの思いに寄り添わせて温かい気持ちをつなげていくことができるようになってほしいと考える。同時に、一人ひとりが自己肯定感を持ち、『自分は大切な存在だ』と感じられるような取組を進めていきたい。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 特別な教科 道徳の充実（必須項目） ※道徳教育全体計画・別葉と連動

・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。

学級懇談会などで道徳教育や道徳の時間について話題にし、家庭と共通理解、連携を図って指導する。

【視点1】

・特別な教科 道徳の資料開発

今日的な課題について深く考えることができるもの、学校や学校生活における具体的な事例や葛藤などについて深く考えることができるものなど、新しい視点に立った資料の開発・活用を行う。 【視点2】

指針2 体験学習の充実

・なかよしタイム、なかよし卒業式等、たてわりグループによる活動を充実させるとともに、全校たてわり遠足の内容を検討し、学級集団だけではない異年令同士のつながりを築くようにする。 【視点3】